

会 議 録

1. 会議の名称

令和5年度 第2回 妙高市スポーツ推進審議会

2. 開催日時

令和5年12月20日(水) 午後3時30分～午後4時30分

3. 開催場所

妙高市役所 2階 201会議室

4. 出席した者の氏名

(1) 委員：5名

池田和資 会長、齊木庄一郎 副会長、東條昭人 委員、野本和博 委員

江口克也 委員 (欠席3名：古川弘美 委員、長崎和志 委員、猪田 信 委員)

(2) 実行機関(事務局)：4名

鴨井敏英 生涯学習課長、小林 豊 生涯学習課長補佐、池田清人 スポーツ振興係長、
葭原なつね スポーツ振興係主事補

5. 議題(会議次第) ※進行：生涯学習課長補佐

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 議事(※池田会長による議事進行)

①会議録署名委員の選任について

②令和5年度スポーツ推進事業の実施状況について

③令和6年度スポーツ推進事業計画(案)について

④その他

(4) その他

(5) 閉会

6. 会議資料の名称

(1) 事前配布資料

・審議会次第

・妙高市スポーツ推進審議会委員名簿

・令和5年度スポーツ推進事業の実施状況について [資料1]

・令和6年度スポーツ推進事業計画(案)について(意見聴取) [資料2]

7. 主な発言の内容

(1) 会議録署名委員の選任について

- ・江口克也 委員、東條昭人 委員の2名とする。

(2) 令和5年度スポーツ推進事業の実施状況について

[資料1]に基づき、令和5年度の事業の実施状況を説明

<発言内容>

- ・発言なし

(3) 令和6年度スポーツ推進事業計画(案)について

[資料2]に基づき、令和6年度の事業計画(案)を説明

<発言内容>

- ・委員：(6) スポーツ施設の備品購入について、購入するのではなくレンタルやリース契約などは考えられないか。

- ・課長：以前はリース契約をしていたが、長期的な費用を見ると買った方が安価になることもあり、全庁的にリースから購入に変わった。製氷機については、夏のみを使用になるため、リース方式についても再検討したい。

- ・委員：(3) ①中学校の休日部活動を地域の活動へと移行することは、教職員の働き方改革としては良い方向だと思う。しかし、この文部科学省の方針は、基本的に電車が多く通っている都会を想定したものだと思う。地方は、移動手段が多くないので、この地域にあったやり方を考えていくことが大切である。部活動を行っている子どもたちは、体力づくりを目的とする者や仲間づくりを目的とする者など、各個人で部活動を行う目的が異なる。それらについて、全て対応するのは難しいのではないか。

最後に、妙高市はジュニアスキー団体に対し、市は補助金を交付するなど力を入れているが、スキーをやっている子どもは減ってきているので、もっと参加者が多い、他のスポーツへの補助を考えたほうが良いのではないか。

- ・課長：部活動の関係については、別途、教育委員会のこれまでの取組みを報告させていただき、情報交換させていただきたい。

ジュニアスキーの育成については、妙高市の中でスキー競技は特筆すべき文化であると考えており、重点化して支援を行っている。

現在、当市では子どもの数が減少しているだけでなく、スポーツをする子どもも少なくなっている。小・中学生だけでなく、小・中・高・社会人のスキー選手の育成へと活動を広げる必要があると感じている。

また、資料に記載はないが、8月に新潟県スキー連盟上越協議会より石打丸山でやっていたB級公認のレースができなくなったため、赤倉観光リゾートで同等のB級公認大会を行うための支援要望があった。選手達にとってはポイントを取る貴重な機会であり、スキーのまち妙高を推進するため、9月の補正予算により対応させていただいた。

(Myoko 赤倉観光リゾート HEAD CUP GSL 大会への支援)

そのほか、修繕の関係では6月に妙高ふれあいパーク事務室の空調が故障し、発注から修繕完了まで3ヶ月かかるとのことで夏季中には間に合わないと考えていたが、12月補正予算で対応し、来年夏前の修理完了となる。

その他全体に対する意見・質問等はなし

以上

令和6年1月10日

上記相違ないことを確認する。

議事録署名委員

江口克也

議事録署名委員

東條昭人